



《A校区のテーマ》
『自分で考えて行動し、まあいいで
自分や友達を大切にできる子ども』

幼 ◇自立心が高まり、生活に見通しをもって自分のことは自分でしようとする。
◇友達と相談しながら一緒に遊びを進めていく中で、考えを出し合ったり協力したりして活動に取り組んでいる。

保 ◇自分の思いや考えを伝えて生活しているが、慣れない場所では不安や緊張感が勝り、自己発揮が十分にできない。
◎自信をもって自己発揮しながら、相手のよさや違いに気付き、考えを出し合って様々な活動を一緒に進める力。
◎友達とのかかわりの中で、きまりを守り、善いことと悪いことの判断をして、主体的に行動に移す力。

小 ◇与えられた課題に対しては一生懸命に取り組むが、自分で考えて行動することには自信がもてず消極的である。
◇友達と仲良く活動したり遊んだりするが、相手の気持ちを考えずに行動してしまう姿が見られる。
◎主体的に学ぶ意欲をもち、多様な考えを受け入れながら自己発揮・自己抑制し、よりよい人間関係を築く力。

期	接続期前期 (5歳児10月～3月) 【学びの芽生え (遊びの中での学び)】	接続期後期 (1学年4月～7月) 【自覚的な学び (教科等の学習を通じた学び)】
ねらい	○友達と共通の目的をもち、生活や遊びを進めていく。 ○就学への期待感をもって、生活や遊びに意欲的に取り組む。 【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重 数量や図形 標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現	○身近な人々にかかわり、一人一人が安心して自己を発揮しながら自立への基礎を養う。○新しい環境の中で、基本的な生活習慣や学習態度を身に付ける。
子どもの学び	●一日や一週間など、短期間の生活に見通しをもち、自分で考えて行動する。 ●感じたことや想像したことなどを、様々な方法で表現して楽しむ。 ●身近にある数量や図形、文字などに対して興味をもち、生活や遊びに取り入れる。 ●小学校生活について知り、期待感を膨らませる。 ●友達のよさに気付くようになり、気持ちを合わせて一緒に活動を進めていく。 ●友達と共通の目的を見だし、互いに協力しながら遊びを発展させる。 ●自分のめあてをもって繰り返し挑戦し、やり遂げようとして自分の成長を感じる。 ●友達と一緒に体を十分に動かして、ルールのある遊びや集団遊びを楽しむ。	●小学校生活に興味をもち、期待をもって登校する。 ●時間割に沿った生活の流れが分かり、学習の準備や持ち物の整理の仕方を考え、自分で学習の用意や片付けをする。 ●登下校の仕方、学校での過ごし方のルールを知り、時間を意識しながらマナーを守って楽しく安全に生活する。 ●思いを様々な方法で表現したり、新しい知識を得たり、発見の楽しさを感じたりしながら学習する。 ●新しく出会う先生や友達、上級生等、身近な人に意欲的にかかわろうとする。(あいさつ、自己紹介、遊び等) ●自分のよさや友達のよさに気付き、それらを認め合って、協力して行動する。 ●学校生活の中で、自分の思いや考えを伝えたり、人の話を最後まで聞いて受け入れたりする。 ●運動遊びの楽しさに触れ、挑戦意欲を土台に最後まで粘り強く取り組む。 ●きまりを守って、誰とでも仲良く運動したり遊んだりする。
子どもの思い	●遊びや生活も自分達で進めたい ●友達と相談しながら遊ぶのは楽しいな ●いろいろなことに挑戦してみたい	●自分でできるようになったよこれからもどんどん自分でやってみよう ●友達と一緒に勉強したり、遊んだりするのは楽しいな ●もっといろいろなことに挑戦してみたいな
具体的な活動	《運動会》《遠足》 《生活発表会(合奏・劇)》 《お別れ会》 《リレー・鬼ごっこ》 《ドッジボール・サッカー》 《長・短縄跳び》 《編み物》《こま・けん玉》 《お店屋さんごっこ》 《郵便ごっこ》 3園合同活動 《3園合同観劇》《3園クリーン活動》	【常時】《特別活動等(朝の会・帰りの会、朝の活動、給食、清掃、係活動)》 生「いちねんせいのはじまるよ」「なかよしいっぱい がっこうたんけん」 国「よろしくね」「みんなにはなそう」体「からだほぐしのうんどうあそび」 「ゆうぐあそび」学「友達となかよくなるよ(学年団で活動)」 図「おしえてみんなのすきなもの」「すきなものいっぱい」 音「どんなうたがあるのかな」「かもつれっしや」「ひらいたひらいた」 道「あかるいあいさつ」「はりきりいちねんせい」 児活「1年生を迎える会」 生「さいてほしいな わたしのはな」 国「こんなことしたよ」「えにつきをかこう」
★環境の構成・◇援助	★生活の流れや時間を意識して行動できるように、分かりやすい掲示物などを表示し、自ら確認したり考えたりできるような環境を工夫する。 ★すごろくやかるたなどの遊びを通して、文字や数量などに多く触れる機会を設け、生活や遊びに取り入れていく。 ◇園外保育では、自然の変化に気付くことで、好奇心や探求心を育てるようになる。 ◇小学校へ行き、一緒に活動する中で、小学生を身近に感じられるように交流する。 ★友達や異年齢児とのかかわりの中で、自分の成長に気付いたり、自分らしさを発揮したりできるように、意図的・計画的に交流する場を設ける。 ★試したり工夫したりできるような教材・用具等の準備をする。 ◇生活や遊びの中で、子どもたちに任せていく機会をつくり、子どもたちがやり遂げていく過程を大切に守りながら、必要に応じて援助する。 ◇グループやクラス全体と一緒に準備したり相談したりして、自分の力が発揮できる環境を整える。 ◇互いに思いを出し合う体験の中で、自分の気持ちを調整する力を育て、より楽しく遊べるように友達と必要なルールを作ったり守ったりできるようにする。 ◇繰り返し挑戦しながら、めあてに向かってやり遂げようとする気持ちを大切に、友達や保育者と教え合ったり励まし合ったりして認められることで、自信につながるようにする。	★一日の予定や活動の手順などを絵や写真、文字等で提示することで、見通しをもたせる。教室内の表示は、子どもの目の高さに設置し、安心して活動できるようにする。 ◇待つ姿勢を大切に、すぐに手助けをするのではなく、できたことや粘り強く取り組んだ姿勢を称賛する。 ◇校内探索や下校を一緒にしながら学校生活のルールに触れ、自分の行動を振り返る。 ◇興味をもったことを伝えたり、疑問に思ったことを出し合ってみんなで解決したりする。 ◇授業づくりの中で、安心して自己発揮しながら活動できるように、子どもの思いや願いから学習課題を見つけ、子ども自身の選択や自発性を促すような場を設定する。 ◇手遊びや読み聞かせ、歌等、幼児期に慣れ親しんだ活動を取り入れる。 ◇ペアやグループ等、友達とかわりながら活動することで、自分の考えを伝えたり、友達と一緒に活動する楽しさを味わったりできるようにする。 ◇学校の先生方や上級生等、いろいろな人と挨拶する機会をもち、人とかわる楽しさや喜びを感じられるようにする。 ◇クラスで学級目標を話し合い、支持的風土の学級経営を行うことで、お互いに励ましたり応援したり、認め合ったりしながら自己肯定感を高める。 ◇子どもの成長やよさ、がんばりを認めて紹介したり、友達同士でよいところを見つけ合ったりして、クラスに広げることによって自信をもつことができるようにする。
幼保小合同	授業参観・校庭で遊ぶ ★安心して過ごせるように、授業を見たり、固定遊具を使ったりして、小学校の場に慣れる機会をもつ。 秋の交流会 ★互恵性のある交流となるように、職員間で事前事後の打合せをする。 ◇園児が主体的に参加する意識がもてるように、園内でイメージを膨らませる。 入学前交流会 春の交流会 ★具体的な子どもの姿から、お互いの育ちにつながるような交流を計画する。 ◇小学生になった自分の成長に気付き、意欲的に生活できるようにする。	授業参観 ●保育参観や授業参観等を通して、子どもの姿や学び、支援の在り方などについて話し合い、保育(教育)の内容について理解する。 O知っている先生や友達と久しぶりに会えて嬉しいな O幼稚園や保育園のとき、小学生にもらったみたいで、ペアの友達に優しく声をかけよう
家庭地域連携	【就学前】 ・登降園時、個人懇談会、クラスだよりなどを通じて子どもの様子や成長を伝え、子育ての悩みや就学に向けての不安を解消する。 ・掲示板や配布物で、就学前施設の取り組みを伝えていく。・就学に向けて生活習慣が身に付くように、園と家庭で連携して取り組んでいく。 ・架け橋期の取り組みの説明などを通して、保護者との相互理解を図る。・地域の方々の協力を得て、「親子ふれあい陶芸教室(みまや焼き)」を実施する。 ・地域行事(文化祭)に積極的に参加し、子どもたちの踊りや歌などを披露する機会をもつ。 ・幼保小の合同会議を定期的に実施し、会の充実を図っていく。・保護者や地域の方に、園(学校)行事等での子どもの活動を掲示し、情報を発信していく。	【小学校】 ・一週間の学習予定や子どもたちの様子を連絡帳や手紙、HP等で丁寧に知らせる。 ・学校での取り組みを知らせ、家庭でも音読や読み聞かせ等の時間をもつように連携する。 ・連絡帳や電話、個人懇談や家庭訪問を通じ、保護者と気軽に連絡し合える関係づくりを意識する。 ・通学路を把握し、交通ルールを知らせ、安全に気を付けて登下校ができるようお願いする。

《共に育てたい子どもの姿》

『安心感や信頼感を基盤として主体的に遊びや活動に取り組み、
まあるい心で友達と関わり遊び(学び) 込む子ども』



こ:◇友達と力を合わせ、勝敗を意識して競い合ったり、イメージを膨らませて遊んだりする中で、学級や学年団の団結力が高まってきている。最初うまくいかないかもしれないと不安に感じることも、友達の姿に刺激を受け、挑戦してみようとしている。
◇友達と話し合い、ルールのある遊びを楽しんでいる。トラブルになる時もあるが、自分の思いを自分なりに言葉で伝えたり、友達の思いを聞いたりして、自分たちで遊びを進めようとする姿が見られる。
◎活動に目的や見通しをもち、積極的に関わったり、友達と相談しながら自分たちで遊びを進めたりすることを楽しむようになってほしい。
小:◇素直に聞く、ルールを守るなどの基本的なふるまいはできているが、発想の豊かさや心身のたくまさが求められる。友達と助け合って課題を解決しようとする姿が見られる。
◎思考を働かせながら、「どのようにしたらよりよくなるか」などの考えをもち、相手に伝え、行動していく主体性を身につけてほしい。

就学前・小学校教育の目的・目標

『学びの基礎力の育成』
(資質・能力の3つの柱)は
連続性・一貫性をもって構成

Table with columns for '期' (Period) and '月' (Month). Rows include '【学びの芽生え (遊びの中での学び)』', '【自覚的な学び (教科等の学習を通じた学び)』', '子どもの学び', '具体的な活動・環境の構成', and '★の交流活動の具体的な内容については前年度交流入学生参観'.

《共に育てたい子どもの姿》

『安定した気持ちで、前向きに活動したり、人と関わったりすることができる子ども』



こ・幼:◇周囲に気が逸れやすいこともあるが、友達や保育者が支えてくれることで、園生活に見通しをもち、自分から取り組んでいる。
 ◇様々な方法で友達に思いを伝えながら遊ぶ中で、いろいろな友達のよさや自分の持ち味に気づき始めている。
 ◎友達と相談したり協力したりしながら、生活や遊びを進めていく。
 小:◇学習や生活に興味をもって意欲的に取り組むが、時間割等に合わせて、気持ちや行動を切り替えることに課題が見られる。
 ◎学習や生活に自分なりの問いをもつことや、教職員や友達、異学年の友達などによりよい人間関係を築くことができる。

就学前・小学校教育の目的・目標

『学びの基礎力の育成』
 (資質・能力の3つの柱)は
 連続性・一貫性をもって構成

期	【学びの芽生え(遊びの中での学び)】						【自覚的な学び(教科等の学習を通じた学び)】			
	5歳児 10月	11月	12月	1月	2月	3月	1年生 4月	5月	6月	7月
通い慣れた	○互いの持ち味を認め合いながら、自分の力を発揮し、友達と遊びを展開していく。 ○就学への期待をもち、意欲的に遊びや生活を進めていこうとする。						○学びを楽しむことができる力。(学習に興味をもって取り組む。自分なりの問いをもつこと。自分ができないことも楽しめる。) ○よりよい人間関係を築く力。(人の話を聞く。相手の気持ちを考える。自分の思いを伝える。新しい環境でも自己発揮できる。)			
子どもの学び	<p>た ○生活に必要なことを自分なりに考えながら、友達と一緒に主体的に活動を進める。 ○1日や1週間など、短期間の生活に見通しをもち、自分で考えて行動する。</p> <p>ま ○友達の姿や思いを受け止めたり、認め合ったりしながら遊びを進めていく。 ○自分たちで遊びや生活を進めていく中で友達と相談しながら役割を分担したり協力したりする。</p>	<p>か ○自ら選択しながら生活や遊びを主体的に進めようとする。 ○友達と一緒に考えながら、繰り返し試したり工夫したりする。 ○小学校生活に関心をもち、期待感を膨らませる。</p> <p>つ ○体を動かして遊ぶ面白さを十分に味わう。 ○友達と刺激し合いながら少し難しいことにも粘り強く挑戦しようとする。 ○友達と一緒に集団遊びを楽しみ、気付いたことを出し合いながら遊びを進めていく。</p>	<p>た ○時間割を含めた生活の流れが分かり、次の行動を考えて準備するなど、見通しをもって行動する。</p> <p>ま ○学級集団の中で、目的に向かい、自分の力を発揮しながら教職員や友達と対話やかかわりを通して協力して生活したり、学びあったりする。</p>	<p>か ○各教科等の見方・考え方を働かせて、主体的・対話的な学習活動に取り組み、3つの資質・能力を育む。</p> <p>つ ○自ら進んで運動に親しんだり、休み時間等に他の子どもと一緒に楽しく過ごしたりする。また、食育の推進を通して望ましい食習慣を身につける。</p>	<p>子どもがアイデアを出す機会を多く</p> <p>休み時間(朝の時間、15分休み、昼休み) ○自分の好きな遊びを伝え合い、一緒に遊ぶ。(ドッジボール、鬼ごっこ、お絵かき、粘土等) ○もっと楽しめる遊びになるように、ルール等を工夫して遊ぶ。</p> <p>学級活動 ○園の生活と比べながら小学校の約束や給食、掃除の仕方等について考える。</p> <p>生活科「いちねんせいがかまじまるよ」「なかよしついでいごうたんけん」 ○友達や上級生、学校で働く人たちとの関わりを通して、身の回りの人たちに親しみをもって生活することができる。 ○校舎の施設に関心をもつ。 ・2年生との探検、自分たちだけの探検と2回実施し、様々な「ひと」「もの」に関わるようにする。</p>		<p>場面や状況に合わせて考える機会を多く設定</p> <p>休み時間(朝の時間、15分休み、昼休み) ○雨の日でも楽しめる遊びを考える。(トランプ、すごろく、けん玉、こま等) ○みんながしたい遊びができるように、行い方やルール等を考えて遊ぶ。</p> <p>生活科「さいてほしいなわたしのまな」 ○植物を継続的に栽培して、その変化や成長の様子に気付くことができる。 ○植物に親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができるようにする。 ・愛情をもって関わる姿や成長を喜ぶ言葉、観察カードに書かれた気付きなどをその都度取り上げ、継続的な栽培活動への意欲を持続する。</p> <p>国語「きこえるよ」「よろしくね」「えをとけよう」 ○言葉のリズムを楽しみながら、みんなといっしょに声を出すことができる。 ○他者に関心を持ち、名前などを伝え合って、互いのことを知ることができる。</p>			
具体的な活動	<p>《運動会》 ----- 《生活発表会》 ----- 《保育参観》 ----- 《お別れ会・お別れ遠足》 -----</p> <p>《リレー》《なわとび》《輪車・フラフープ》 -- 《ドッジボール》 ----- 《ケイトロ》 -----</p> <p>《オセロトランプ》 ----- 《手紙・年賀状》 ----- 《正月遊び(すごろく・カルタ・コマ回し)》 -----</p> <p>《自然物・いろいろな素材を使った製作》 《お屋さんごっこ》 -----</p> <p>《サツマイモ掘り》 《冬野菜の収穫》 -----</p> <p>《1年生との交流》 ----- 《4年生との交流》 ----- 《学校の施設を借りて遊ぶ》 ----- 《オンラインで学校紹介》 -----</p> <p>《コスモス畑見学》 ----- 《しめ縄づくり》 《たこ上げ》 ----- 《お礼のプレゼント作り》 -----</p> <p>☆その他 園外保育(園周辺・神社・道の駅)栽培活動・当番活動・絵本読み聞かせ・ALT など</p>									
★環境の構成・◇指導・援助	<p>た ★生活の流れや時間を意識して行動できるように、スケジュールや時間の表示を掲示する。 ◇自分の健康に関心をもち、手洗い、うがい、衣服の調整など、必要感をもって行えるような声掛けを行う。 ◇★生活の場や持ち物(かばんや道具箱など)を整理する必要性を感じるきっかけをつくり、整理整頓を行う時間を確保したりする。</p> <p>か ★自分たちで遊びや生活を進めていけるように、やりたいことを繰り返し試したり、考え工夫しながら取り組んだりできるような時間と場を確保する。 ◇★タイミングを図りながら遊びに合わせた素材や子どものイメージに合ったものを用意し、遊びを自分たちで発展させていけるようにする。 ◇繰り返し取り組む中で、試行錯誤したり工夫したりする姿を認め、周囲に知らせていく。 ◇★子どもの気付きや取り組んだことを視覚的に分かるようにし、さらなる意欲につなげる。 ◇小学校見学や小学生と交流する機会を設けたり、視聴覚教材を活用したりすることで、小学校を身近に感じ、就学への期待感を膨らませられるようにする。</p> <p>ま ◇友達と思いを出し合い相談して活動を進められるように、子どもの気付きに共感したり考えを取り入れたりする。 ◇子どもの姿を肯定的に捉え、学級や学年全体で共有する場を設ける。また、互いのよさや持ち味に気付いたり認め合ったりし、子どもの自信につなげていく。</p> <p>つ ★遊びのルールやアイデアを出し合いながら、友達同士で決めたり確認したりできる場を設けていく。 ◇自分なりの目標をもち、挑戦しようとする姿を十分に認めていき、周囲に知らせていく。 ◇粘り強く取り組む子どもの姿を励ましたり、その過程を認めたりし、一人一人の意欲を支えていく。その為の十分な時間と場所を確保する。 ◇身体感覚の発達に応じて、遊びや運動用具(一輪車、短縄跳びなど)を提案する。</p>	<p>た ★生活の流れや時間を意識して行動できるように、時間割等の表示を掲示する。 ◇身の回りの整理整頓ができている児童を称賛したり、集中して取り組めるような授業づくりを工夫したりする。 ◇時間が守れなかったり、整理整頓ができていなかったりする児童に対して、イラスト等を活用しながら助言する。</p> <p>か ★栽培活動など体験的な学習の機会を増やすとともに、ICTを活用し、視覚情報の充実を図り、学びやすい環境をつくる。 ◇自ら問いをもったり、解決方法を考えたりしている児童や、友達の話を聞き、自分の考えを深めている児童を称賛する。 ◇主体的に学習に取り組めていない児童に対して、個別に声をかけたり、友達と教え合いながら取り組むよう指示したりする。</p> <p>ま ★異学年との児童の関わりを通して社会性を育むために、縦割り班活動を活用する。 ◇自分の考えを伝えたり、友達に優しく接したりしている児童を称賛する。 ◇友達関係のトラブル等を活用して、気持ちの伝え方や受け止め方について具体的に助言する。</p> <p>つ ◇休み時間には、外遊びを推奨し、遊びのルールやアイデアを出し合いながら、友達となかよく遊べるように助言する。 ◇休み時間に一人で過ごしている児童に声をかけ、他の友達と遊べるよう支援する。 ◇食べ物の働きについて知り、苦手なものでも食べる量を自分で調整して、少しずつ食べられるようにする。</p>								
地域・家庭連携	<p>【就学前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降園時や個人懇談等を通して、成長や課題について共通理解を図っている。 ・掲示のボードやクラスだより等で活動への取り組み様子や日々の姿、過程を大切に伝える。 ・保育参観等を通して、保護者が子どもの成長を感じたり就学前に大切にしたいことを共有したりする。 	<p>【就学前・小学校合同】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観の機会を設け、互いの子どもの様子を見合ったり、情報共有したりできるようにする。 ・就学に向けて滑らかな接続ができるように、職員研修の機会を設ける。 	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級PTA ・自宅確認 ・学期末懇談会 ・連絡帳や電話連絡で子どもの様子を知らせる。 							

期	接続期前期 (5歳児10月~3月)					接続期後期 (1学年4月~11月)									
目標	保こ幼小の教育の目標 = 『学びの基礎力の育成』・・・保こ幼小の教育の目的・目標 (知・徳・体) は連続性・一貫性をもって構成														
実態	<ul style="list-style-type: none"> 共に育った仲間関係のなかでは自分の主張を出しやすく、周りからも認められることが多い。 新しい環境や活動には慎重になるが、慣れたり楽しさがわかると積極的に取り組める。 当番活動やグループ活動、クラス全体の活動等、自分たちで進めようとしていたり、見通しをもって行動しようとしていたりしている。そのなかで互いに思いを伝え合い、話し合ったり協力し合ったりしている。 					育てたい子ども像 ○主体的に遊びや活動に取り組み、まあるい心 で友だちと遊び・学べる子ども			<ul style="list-style-type: none"> 明るく素直で、自分の課題に対して最後まで取り組もうと一生懸命努力する。 たくさんのクラスメイトの中で、新しい人間関係をつくるためのコミュニケーション力を育成する必要がある。 大人数の中で自分の思いや願いを優先しがちとなるため、相手のことを考え、思いやることや、自分の思いや考えを伝える力を伸ばす必要がある。 文字の読み書きなどについて個人の差が大きい。 						
育てたい力	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを相手に伝える力。 自分から周りの人や環境に親しみをもち、関わろうとする力。 互いの良さを認め合い、友だちと協力して活動する力。 社会のルールやマナーを知り、自ら気付き、考え、行動する力。 					接続の重点 ○保こ幼小の継続的な交流の実施 ○互いの保育、教育内容についての相互理解、接続期の学びの連続性をふまえた教育行動の充実。			<ul style="list-style-type: none"> なかまとともに進んで学び、深く考える なかまとともに認め合い、自信をもって取り組む なかまとともに元気よく遊び、心身を鍛える 						
教育課程	【育みたい資質・能力】 ○知識及び技能の基礎 ○思考力・判断力・表現力等の基礎 ○学びに向かう力・人間性等					<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の育成 豊かな心の育成 健やかな体の育成 									
教育活動・交流活動	学びの芽生え (遊びの中での学び)					自覚的な学び (教科等の学習を通じた学び)									
	5歳児 10月	11月	12月	1月	2月	3月	1学年4月	5月・6月	7月・9月	10月・11月					
	「たのしいあきいっぱい」 ・どんぐりひろい 「ふるさとまつり」 ・あきのなかよしフェスティバル			「体験入学」 ・学校探検			「どきどきわくわく1ねんせい」 (学活・生活・音楽・国語・図工・体育・道徳) ・握手大作戦 (国語・生活) 自己紹介や握手や手遊びをして友だちと仲良くなる。 ・みんなで歌ったり、踊ったりしよう (音楽・生活) ・みんなで学校の中を歩いてみよう (生活) 2年生と一緒に、ルールやマナーを守って学校探検をして学校生活を支えてくれている人が分かる。 ・自分の好きなものを描いて友達に紹介しよう (国語・図工) 好きなものを描き、紹介し合い友だちに親しみをもつ。	「きれいにこさいてね」(生活・図工) 植物を継続的に栽培して、その変化や成長の様子に気付く。植物に親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができよう。 「なつだ、いっしょにあそぼう」(生活) 園児と一緒にプールで泳いだり、水鉄砲をしたりして、園児や夏に親しみをもつ。	「たのしいあきいっぱい」 (生活・図工) 秋のものを友だちや保育所の園児と一緒に見つけることで秋に親しみをもつ。 「あきのおもちゃまつりしよう」 (生活・図工) 秋の素材を使ったおもちゃを作り保護者・地域の方・園児と遊ぶことで、秋に親しみをもつことができる。						
	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に様々な活動に取り組む。 屋外で友だちと競い合ったり、力を合わせたりしながら体を動かすことを楽しむ。 自分の感じたことや考えを言葉で伝えたり、相手の思いを受け入れたりする。 季節の変化や行事を身近に感じ、自然を遊びに取り入れて考えたり工夫したりして遊ぶなかで、色や形、大きさの違いや数などに関心をもつ。 劇遊び (廃材を含む) いろいろな素材に触れて) ふれあい遊び リレー 玉入れ おにごっこ サッカー ドッジボールなど					<ul style="list-style-type: none"> 友だちと話し合い、考えを出し合いながら役割分担したり、協力したりして遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。 数量・図形に関心をもち、生活や遊びのなかで関心をもって数えたり、比べたり、組み合わせたりする。 就学に期待をもち、主体的に生活を進めていこうとする。 自分の成長を実感し、友だちや周りの人たちに感謝の気持ちをもつ。 遊びのルールや展開を考えながら (おにごっこ サッカー ドッジボール) 縄跳び マラソン こま回し カルタ すごろくなど									
日常的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 当番活動やグループ活動、クラス全体での活動等を積極的に取り入れ、自分たちで生活の場を整えようとしていたり、見通しをもって行動できるような場づくりをしたりする。そのなかで、自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いに気付いて関わったりできるように働きかける。 友だちと関わることで遊びの広がり、一人で遊ぶより楽しいと思える経験ができるようにする。 遊びのなかで、自分なりに目標をもって繰り返し取り組み、達成感や満足感をもてるように関わっていく。 異年齢交流のなかで、年長児としての自覚や自信を感じながら行動し、親しみや思いやりの気持ちを高めているようにする。 					〈学習環境の見直し〉 一人一人が安心して学校生活を送れる人間関係づくり カリキュラムマネジメント 安心して学べる工夫 <ul style="list-style-type: none"> 保育園や幼稚園で経験したじゃんけん遊びや手遊びを取り入れ、自信をもって参加できるようにする。 担任や友だちと仲良くなるようにするために、交流の機会を大切にしている。 授業の際、黒板に何をやるかを示した視覚支援を行い安心感をもたせる。 朝の時間を柔軟に活用し落ち着いて取り組める環境を設定する。 45分の授業時間だが、15~20分程度のモジュール学習を組み、児童の集中力を高める。 生活の中での場面や言葉を提示するとともに実際の生活に生かせるように繰り返し声をかけ意識付ける。 国語、算数、図工、道徳、体育では、生活科を中心に教科横断的にカリキュラムを編成する。音楽、体育では、じゃんけんやゲーム、踊りなどを取り入れ意欲を高める。国語では、自己紹介や物語画など絵を描いてイメージ化を助ける。 環境構成 <ul style="list-style-type: none"> 授業の際に話型を提示しておき、安心して発表できるようにする。 座席や指導形態を工夫し、教え合ったり協力したりできるようにする。 運動場の遊具の使い方や遊びの工夫を知らせ、外遊びを励行する。 主体性 <ul style="list-style-type: none"> 主体的に活動できるように、授業の際に自分で選択したり、考えて活動したりできる時間をとる。 特別教室や自分たちが日常的に利用できる場所 (生活科室・音楽室・図書室など) を知り、主体的な利用の仕方を覚え、意欲的に活動できるようにする。 朝の会や帰りの会、給食当番など役割を具体的に確認し、自分でできたことを実感させる。 一人一人に役割を与えることで、クラスの一人としての自覚がもてるようにし責任感と自信がもてるようにする。 簡単なことから自信をもたせ、無理なく考え学んでいけるように褒める。 上手に発表した子どもを称賛するとともにモデルにする。 									
教員連携	<ul style="list-style-type: none"> 就学時健康診断 ふるさとまつり 		<ul style="list-style-type: none"> 保こ幼小合同研修会 (保育所の公開保育・討論) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検 	<ul style="list-style-type: none"> 要録送付 情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> 保こ幼小小研修会 		<ul style="list-style-type: none"> 保こ幼小研修会 ふるさとまつり 							
家庭連携	【就学前】 ・登降時や個人懇談時の保護者との会話を通じて、成長や課題について共通理解を図っている。 ・日々の様子や活動への取り組みをクラスだよりや写真等の掲示で知らせている。 ・保育参観、教育相談、個人懇談等					【就学前・小学校】 ・ふるさとまつり ・保こ幼小の交流会 ・公開保育、学校探検、授業参観					【小学校】 ・学級懇談 ・家庭訪問 ・学期末懇談会 ・学年団だより ・ホームページやブログ ・教育相談 ・ふるさとまつり				